

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●



池の周りに散策路が巡る

★ 戸越公園 ★

東急大井町線「戸越公園」駅から商店街を抜け、大崎高校と戸越体育館の間の小道を進むと、前方に木立におおわれた戸越公園が見えてきます。

この公園は、江戸時代には肥後の国熊本藩の細川家の下屋敷だったところ。池を中心にして小さな溪谷や滝、築山などを配した回遊式庭園は区民の憩いの場として親しまれています。

★ 戸越公園 ★

秋はいちだんと深まりを増し、街中の木々も色づく季節を迎えました。そこで、身近な紅(黄)葉ポイントを3カ所厳選してみました。そぞろ歩きをしながら「燃える秋」を楽しんでみてはいかが？

取材スタッフの皆さん



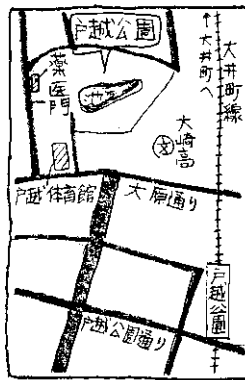
「燃える秋」を探して

紅葉スポット・ウォーキング

運 送 内 己

池の周りには、常緑樹に混じってケヤキやイチヨウをはじめイロハモミジ、ベニシダレモミジ、ペニバナトチノキ、ドウタンツツジなどが茂り、11月中旬から12月にかけて鮮やかに色づいて目を惹かせてくれます。

戸越公園のもう一つの見ものは、正面入口である薬医門の脇に大きく枝を広げたヒマラヤザクラです。ネパールから贈られたものだそうで、12月上旬から下旬にかけてピンク色の花がみごとに咲きそろうに。どうぞ、見逃しませんように。



★ 池田山公園 ★

JR五反田駅東口から桜田通りへ。上り坂に差しかかる手前を左に入り、N.T.T.関東病院を回りこむように歩くと、住宅が建ち並ぶ高台の一角に池田山公園が広がっています。

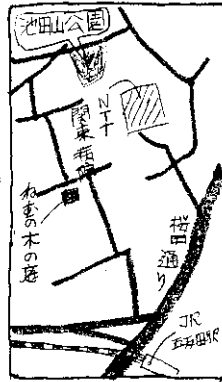
こちらは江戸時代、岡山藩池田家の下屋敷があったところです。池畔を巡る回遊式の大名称園は、都心とは思えない静けさがただよみ、落ち着いた風情を醸しています。池に悠々と泳ぐ鯉の、なんと大きいこと！ ビックリしました。

池を取り囲むようにイロハモミジの古木が枝を広げています。紅葉期は例年11月下旬から12月にかけて。葉は真っ赤に染まり見ごたえは十分です。

このほか、起伏に富んだ園内にはハゼノキやドウタンツツジ、カツラ、ヒユウガミズキなどが紅や黄に色づき、鮮やかな景観に包まれます。



大名称園の風情が...

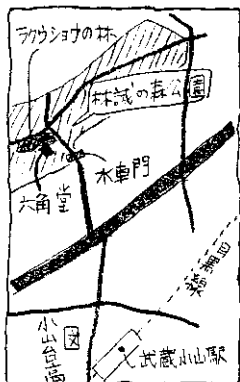


池田山公園からは5分ほど歩いて「ねむの木」まで足を延ばしましょう。皇后美智子さまのご実家、旧正田邸跡地に造られた瀟洒(しょうしゃ)な公園です。四季の花々がさりげなく彩りを添えて、自ずと心がなごんできます。

★ 林試の森公園 ★

地域の人にとっては、防災訓練の会場としておなじみの公園です。散歩やジョギングのコースとして利用している人も多いのではないですか。

旧林野庁林業試験場の跡地だけあって、外国産などの珍しい樹木や



このほか、紅(黄)葉期になると園内のあちこちで、意外な木々が思わず場所まで色づいて、存在を主張しはじめるのです。

目を見張るばかりの巨木が茂っています。園内にまぎれこめば都会に開けた別天地、といった趣です。

毎度利用している人にとっては、四季折々の自然の移ろいは何気なく感じ取っていることでしょうか、この秋は紅(黄)葉に焦点を絞ってみてはいかがでしょう。

水車門から園内を進むと、池のほとりに建つ六角堂が目に入ります。その六角堂の背後に、こんもりと背高く茂るのはラクウショウ(落羽松)の林です。原産地はアメリカだそうですが、高さは50メートルにも達するといえます。根は湿地を好むので、この池の周辺は好適地のようです。



六角堂の裏手はラクウショウの林

汚す人 あなたの心も 汚れてる

街角 フラガ

あなたも紙面づくりに
参加してみませんか。
俳句、短歌、川柳、身
近なニュースなど事務
局までお寄せください。

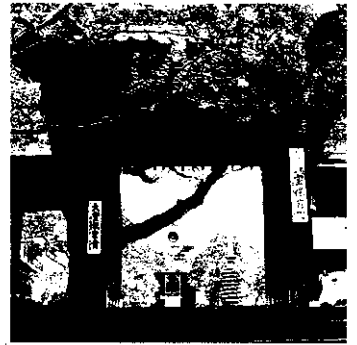
史跡散歩

安養院と石造文化財

目黒不動尊の近く、品川区と目黒区の境目近くに安養院というお寺があります。

石仏が散りばめられた参道を進むと、どっしりと構えた中国、清時代の狛犬一対が迎えてくれます。その先には、戦災にもまぬがれたという江戸時代建造の瓦葺の山門が建っています。《安養院》と記された扁額は中国からの帰化僧、独湛（どくたん）の筆になるもので、宝永2年（1705）に掲げられたといわれます。

この寺は、平安朝の初めに天台宗三世慈覚大師によって創建されました。その後、寛永元年（1624）に木喰唱岳長音（もくじきしようくわくちようおん）上人によって復興され、自らの作である金色八尺（約2・4メートル）の釈迦涅槃（ねはん）像をご本尊とし、ボックリの寺として繁栄しました。



扁額がかかる安養院山門

『江戸名所図会』にも寝釈迦の寺として紹介されています。また、ウスサマ明王をお祭りし、お下（しも）の寺としても有名でした。

涅槃像は、ふだんは紫の衣に覆われて顔を拝するだけです。当寺の行事の日にはご開帳となり、全身のお姿を拝むことができます。観音堂の脇には区の文化財に指定されている石造念仏供養塔が建っています。この塔は延宝3年（1675）の建立で高さが3・64メートルもあります。

境内には、このほか高さ3・5メートルの宝篋印塔をはじめ弥勒大仏、丈人像、釈迦十大弟子像、さる地藏など大小さまざまな石仏が見られ、この寺がいかに、いろいろな人たちによって信仰されてきたか、うかがい知ることが出来ます。

掲示板

◇「はたらく消防の写生展」に
力作21点が揃う◇

「はたらく消防の写生展」主催佐原消防署小山出張所、共催佐原第一地域センター

夕1が8月3日から同12日まで佐原第一地域センターで開催されました。今年には小山小学校、小山台小学校の児童の作品21点が展示されました。消防総監賞や企画調整部長賞の受賞作品など力作が揃いました。



◇1000人が参加して

総合防災訓練を実施◇

訓練は起震車による地震体験をはじめ、訓練の後は佐原消防団、区民消防隊、消防実践、消火実践、ロープワークなど、ミニポンプ隊による消火実践のアトラク18日（日）、1000人が参加して林試の多岐にわたり、参加者はいざという時に、そなえて真剣に取り組んでいる様子でした。

「続・国民の祝日」なるほどセミナー

前号に続いて11月から来年2月までの祝日を掲載してみましよう。

【祭日に基づく祝日】

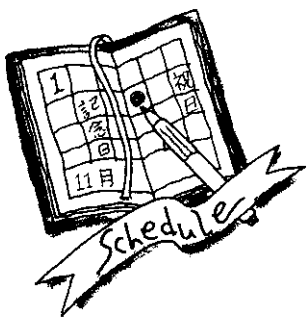
* 勤労感謝の日（11月23日）：

心身を問わず勤めに励むことを尊び、生産を祝って国民がお互いに感謝しあう日。戦前は国家行事である「新嘗祭（にいなめさい）」と呼ばれ、その年に収穫された穀物に感謝する式典が執り行われました。

* 元日（1月1日）：年の初めを

祝う日。「元旦」とは元日の朝をさします。「元」には、いちばん初め、「旦」には、朝あるいは夜明け、の意味があります。

【国家にちなむ祝日】



舞踏服の背に晩秋がしのび寄る
（佐原一丁目 吉田久美子）

セロファンを揉む音がする 秋の暮
（佐原一丁目 吉田健治）

朝の富士湖にうつりてほほを染め
（佐原一丁目 大柳勝雄）

秋晴れやこころはずんでリハピロを
（小山三丁目 青山智恵子）

やまほうし 西日あたりて暮の秋
（小山三丁目 青山淑子）

りんどうは一段一段と
順に数を減らして咲いてくる
（小山台一丁目 昌子）

落陽（らくよう）の金色の舗道踏みたく
秋のなごりの銀杏の香かきぞ
（佐原一丁目 節子）

訓練は起震車による地震体験をはじめ、訓練の後は佐原消防団、区民消防隊、消防実践、消火実践、ロープワークなど、ミニポンプ隊による消火実践のアトラク18日（日）、1000人が参加して林試の多岐にわたり、参加者はいざという時に、そなえて真剣に取り組んでいる様子でした。

* 文化の日（11月3日）：自由と平和を愛し、穏やかで豊かな心を大切に思う日。

* 天皇誕生日（12月23日）：天

皇の誕生日を祝う日。今上陛下は昭和天皇の崩御により、55歳で第125代天皇になられました。

* 建国記念の日（2月11日）：建

国をしのび、国を愛する心を大切に
する日。神武天皇が即位して日本が
建国されたとする「紀元節」は、戦
後、占領軍の意向によってなくなり、
変わって建国を記念するための祝
日として設けられました。

【人生に伴う祝日】

* 成人の日（1月15日に近い第2
月曜日）：大人になったことを自覚
し、自ら生き抜こうとする青年を祝
い、励ます日。

次号「まちかど」は来年2月5日発行の予定です